

国立大学法人広島大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和元年12月19日(木) 15:00 ~ 17:00 広島大学東千田キャンパス 東千田総合校舎 S棟1F共用講義室1	
委員	委員長 清水 斉 (大学教授) 委員 胡田 敢 (弁護士) 委員 小早川 幸三 (公認会計士・税理士) 委員 栗栖 長典 (本学監事)	
審議対象期間	平成30年10月1日 ~ 令和元年9月30日	
抽出案件(合計)	4 件	(備考)
工事(小計)	3 件	今回の審議対象期間においては、 再苦情の申立て及び同審議依頼は なし
一般競争 (政府調達協定対象工事)	0 件	
一般競争 (上記工事を除く)	3 件	
公募型指名及び 工事希望型競争	0 件	
通常指名競争	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業務	1 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申、 又は勧告の内容	別紙のとおり	

質問等	回答
<p>1. 委員長の選出について ・委員の互選により清水委員を委員長とした。</p> <p>2. 案件の抽出について ・清水委員長の抽出した案件について了承された。</p> <p>3. 案件の審議について (1) 一般競争入札方式 【広島大学(霞)研究棟A 4～7階等改修工事】 ・競争参加資格は、どのように審査されるのか。 ・ダブルチェックが行われているのか。 ・3回目の入札を行うに当たり、入札条件を緩和したのか。 ・入札金額と予定価格が大きく乖離した場合は、入札条件を緩和するのか。 ・入札が原則2回である根拠はあるのか。 ・入札の3回目を行う判断はどのようにしているのか。</p> <p>(2) 一般競争入札方式 【広島大学(東広島)基幹整備(特別高圧受変電設備等)工事】 ・応札者が辞退した理由は何かあるのか。 ・企業の施工体制の評価基準は何かあるのか。 ・1者応札が多いので、もっと応札が増えるようにならないのか。 ・応札者の等級は誰が決めているのか。</p> <p>(3) 一般競争入札方式 【広島大学(東広島)東図書館等改修その他工事】 ・複数の工事をまとめて発注する理由は何かあるのか。 ・3回目の見積で、見積金額が大きく下がった理由は、応札者が見積金額を見直したものでか。 ・入札金額が大きく下がっても大学側としては問題ないと判断したのか。 ・3回目の見積をする前に、応札者から見積書を徴取しているのか。 ・複数の応札者が入札した場合、2番札の応札者と見積を行うことがあるのか。</p> <p>(4) 設計・コンサルティング業務 【広島大学(原医研)実験研究棟新営設計業務】 ・A社が「設計業務の実績」の点で希望に至らない理由は何かあるのか。 ・参加資格がない業者が応募してくるものなのか。 ・応札者の参加資格の有無及び選定結果を通知しているのか。 ・応札者は、技術提案書を提出する段階では、応札者数がわからないのか。</p> <p>4. 意見の具申又は勧告について ・意見の具申及び勧告ではないが、大規模工事では、入札参加業者数が少ないため、過去の業者ごとの契約実績(件数等)についての分析資料をまとめる等、入札を意義あるものにする工夫をしてもらいたい。</p> <p>5. 議事録の確認について ・本日の議事録を事務より送付する。了承が得られたのち、広島大学HPIにて公表する。</p> <p>6. その他 ・次回の委員会は、令和3年6月頃に開催することが了承された。 ・次回のみ審査対象期間を令和元年10月1日～令和3年3月31日の1年半とし、それ以降は4月1日から翌年の3月31日の1年間とすることが了承された。 ・次回の案件抽出は委員長が担当することについて了承された。</p>	<p>・競争参加資格等審査委員会において、応札者の申請内容について審査している。 ・施設部と当該委員会でダブルチェックを行っている。 ・緩和していない。 ・乖離した場合は、入札を保留し、入札条件を緩和せず、1番札の応札者と協議して契約する。また、協議が不調の場合は、入札条件を見直して再度公告を行う。 ・文部科学省の通知を準用している。 ・1回目と2回目の入札金額の差及び予定価格との差により判断している。</p> <p>・併願している本学以外の工事を受注し、技術者が配置できなくなったためと考えられる。 ・入札価格の範囲内において入札説明書等に記載された要求要件が実現できるかを審査している。 ・早めに発注見通しを公表したり、入札条件を緩和したりして応札者増加に努めている。 ・文部科学省で決めている。</p> <p>・同時発注によるスケールメリットが得られること、全国的な技術者不足に対応するためである。 ・本学と応札者が協議した結果、応札者が見直したものである。 ・設計図面は変更していないので、問題はないと判断している。</p> <p>・開札の前日に、応札者から見積書を徴取している。</p> <p>・1番札の応札者が辞退した場合は、2番札の応札者と協議することになる。</p> <p>・本学が公示で示した「設計業務の実績」を有していなかったためである。 ・今回の応札が初めてであり、公示内容を理解せずに応募してきたものと考えられる。 ・電子入札システムで通知している。 ・そのとおりである。</p> <p>・検討する。</p>